
遠足へ行こう！

甘楽由希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遠足へ行こう！

【Zコード】

N6812M

【作者名】

甘楽由希

【あらすじ】

『ギャグマンガ日和』に登場する聖徳太子と小野妹子が繰り広げる、はちゃめちゃな物語です。名前の通りギャグが主で一次創作ですが、『ギャグマンガ日和』を知らない方も是非読んでみて、一笑していただければ幸いです！

? 始まりは突然に

突然ですが、

僕は小野妹子といいます。

赤ジャージ（半袖）を常に着ています。

そして同じく僕の主人である太子さん。

太子さんは常に青のジャージ（長袖）を着ています。

そんな僕と太子さんは、

一緒に唐へ行く事になりました。

これからどんな旅になるのか、不安がいっぱいですが……

今から出発したいと思います！-!
さよならジパング！

(30分後)

「太子！到着しましたよ？」

僕は太子さんよりも位が下だ。だけど僕は普通に太子と呼んでいる。

何故か？　太子がそう望んだからだ。

僕と太子が出会った頃は僕は普通に『太子さん』と呼んでいた、しかしある日太子は言った。

「そろそろ『太子さん』ってやめようよ……はつきつけって……気持ち悪つオエツ」

……一体僕が何をしたというんだ！

そして何で吐くんだよ……お前のゲ○の方が気持ち悪いよ……

と僕は完全にキレて、それからは『太子』と呼ぶのが普通になった。

……今思えば、もしかしたら太子は位とか関係なく、僕と付き合いたかったのかも……

でもまあ、それはないだろ？

そう思いながら、僕はもう一度太子の名前を呼んだ。

「…太子? もう着きましたよ」

太子はさつきから俯いている。
…ギャグではなさそうだ。

僕は嫌な予感がした。太子が何か言っているのだ。

「…妹子……………つた」

「…太子? どうしたんですか? 何があつたんですか! ?」

太子のいつもとは違う行動に僕は戸惑った。

そして太子は僕の耳元で、小声で一言だけ言った。

「…………酔つた…………」

えええ！？30分船に乗つて船酔い！？

「太子！……僕もうゲ○だけは見たくないんで、自分でなんとかして
くださいっ！」

「…………で……出来る訳……ないだろお…………オエツ」

「いやいやいや、太子結構吐いてるから僕そのせいでもうマムなん
ですよ！……（泣）」

僕はじつしたらここなのでしょう。

旅が、始められません。

第一話 完

?始まりは突然に（後書き）

この作品を読んで下さりてありがとうございます！！

私は『ギャグマンガ日和』にでてくるこの2人が大好きなので、今回小説を書く事が出来て本当に嬉しいです！！

これからも頑張りますので、よろしくお願いします。あと、感想などを残していただけたら幸いです^_^

?旅?いやいや旅行だらつ（前書き）

前回のあらすじ

小野妹子はなんだかんだで聖徳太子と共に隋へ行くことになった。ところが隋に行く途中の船で聖徳太子が船酔いになってしまった！隋にはすでに到着。どうする妹子！？

？旅？いやいや旅行だらう

「……」めんよ、馬

今にも吐きそうな太子と僕は、馬に乗つて洛陽を目指していた。

……本当は舟で行つた方が何倍も早いのだけれど、これ以上太子に吐かせる訳にもいかない。

「太子、気分はどうですか？」

「……なんとか」

「全く……」

やれやれ、先が思いやられる。

でもまあ太子と一緒にいる時は何かしらトラブルが起きるものだ。

だからこんなのはいつもの事だ。

…………しかし僕は知らなかつた。

これが不幸の序章だということを……

「大分来ましたね、太子」

「…………ああ、ところで何で馬に乗つてんだ？」

まずそこから！？

説明するのは面倒だが…仕方がない。

「いいですか、僕たちは洛陽を田指しているんです。何をしに行く
かは…

分かつてますよね？」

「分かつてゐる、分かつてゐる」

そう太子は言った。

「芭蕉君と曽良君に会つていいくんでしょう」

……聞いた事がない人物名登場。

「…誰ですか…その方々は」

「友達」

「へえー…」

つて違う…!

元々隋の皇帝に会いにいくとか言ってた気がする…

それはどうなったんだ!?

太子に問い合わせると、

「え？ ああ…… 最初はその予定だつたんだけど、なんかめんじくさくなつちゃつたからやめた」

やめた！？

「やめたじやないですよーーーあなたの仕事でしょーーーー。」

何やつてんだ一体！

「大丈夫！他の人に任せたから

「……他の人？」

「今妹子の後ろにいるよ」

「…え！？」

僕は驚いて振り返った。

それは意外な人物だつた……！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6812m/>

遠足へ行こう！

2010年10月10日16時01分発行